
9月30日（水） 19:00～21:00

【テーマ】 衣服

【タイトル】

天然繊維の再興～オーガニックコットン事業を通して～

【概要／狙い】

世界中の農薬の20パーセントが綿花栽培に使われています。

綿花栽培は大量の水を使うので、世界最大の綿花の産地、アラブ海が干上がり、塩害が生じ、その地域に住む人々は甚大な健康被害にあっています。

また、バングラデシュでファストファッションメーカーの工場が入ったビルが倒壊、1100人以上が亡くなるという大惨事もありました。化学繊維もどんどん増えており、化学物質による肌への負担、環境ホルモン・化学繊維・静電気が発生しやすいといったことから様々なアレルギーや病気につながる懸念されます。

過剰な広告、ファッション業界の「計画的陳腐化」計画に乗せられ、流行に流され、日本人は一年間で10キロの洋服を買い、8.5キロを捨てています（2009年）。

また、日本の衣服の自給率は何%かご存知でしょうか？普段、当たり前のように身に付けている衣服についてもいろいろな課題が存在しています。本講義で参考にするのは、オーガニックコットンのパイオニア、アバンティ。

厳しい検査基準を満たしたオーガニックコットン、日本の職人の手による顔の見えるものづくりは、現代の資本主義の論理のアンチテーゼです。

代表であり、様々な活動をされている渡邊智恵子さんに、市場経済の中では難しいオーガニックコットンの事業化、業界動向について伺い、衣服の未来について一緒に考えます。

事前にアバンティのオリジナルブランド「プリスティン」のショップをのぞいていただき、講義にのぞんでみてください！

【場所】

オンライン（Zoom）

【講師】

渡邊 智恵子 / 株式会社アバンティ代表取締役社長

【課題図書】

『ワタが世界を変える』

著者：田畑健（地湧社）

【参考サイト】

[プリスティンのホームページ](#)

【参考写真】

